

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 東美濃担い手協議会の設立

JA名 ひがしみの（岐阜県）

1 動機 (経緯)	<p>当 JA 管内の地形は、数々の山脈に囲まれた典型的な中山間地です。多くの農地は畦畔率が大きく、また小規模であり、担い手の育成・確保や規模拡大に対して条は芳しくありません。</p> <p>そんな中、農業者の高齢化に伴う遊休農地や耕作放棄地の増加、農業後継者不足に直面しています。</p> <p>このような状況下で、認定農業者、農業法人、集落営農組織、関係機関、JA が、①担い手の強い農業として経営を確立すること、②互いに情報共有を図り、連携しながら有利な農業活動が図られることを目的として、連携協議会を設立致しました。</p>
2 概要	<p>平成 23 年度に、水田・畑作経営所得安定対策に加入していた 16 組織が会員となり、東美濃担い手協議会を設立致しました。当 JA が事務局となり、営農部、経済部、金融部が担い手のニーズを把握し、支援することを目的として、関係機関と連携し、農政の説明会、農業経営の意見交換会等、年 3～4 回の協議会の開催を行っています。現在の会員数は 17 組織です。</p> <p>協議会の中で JA に対する意見として出された資金のニーズに迅速に対応することに努めています。</p>
3 成果 (効果)	<p>このような取組みを行なうことで、関係組織団体をはじめ、地域農業者に対して、農業関連資金など 48 件、金額においては、8,200 万円の融資実行することが出来ました。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>今後も営農部、経済部、金融部、更には、関係機関が一体となった総合支援を行なうことにより、会員数の増加、農地の集積を図りながら、変革する担い手ニーズに対応できるよう努めていきたいと思ひます。</p>